

八王子市スケートボード社会実験における
アンケート調査報告書

令和5年12月

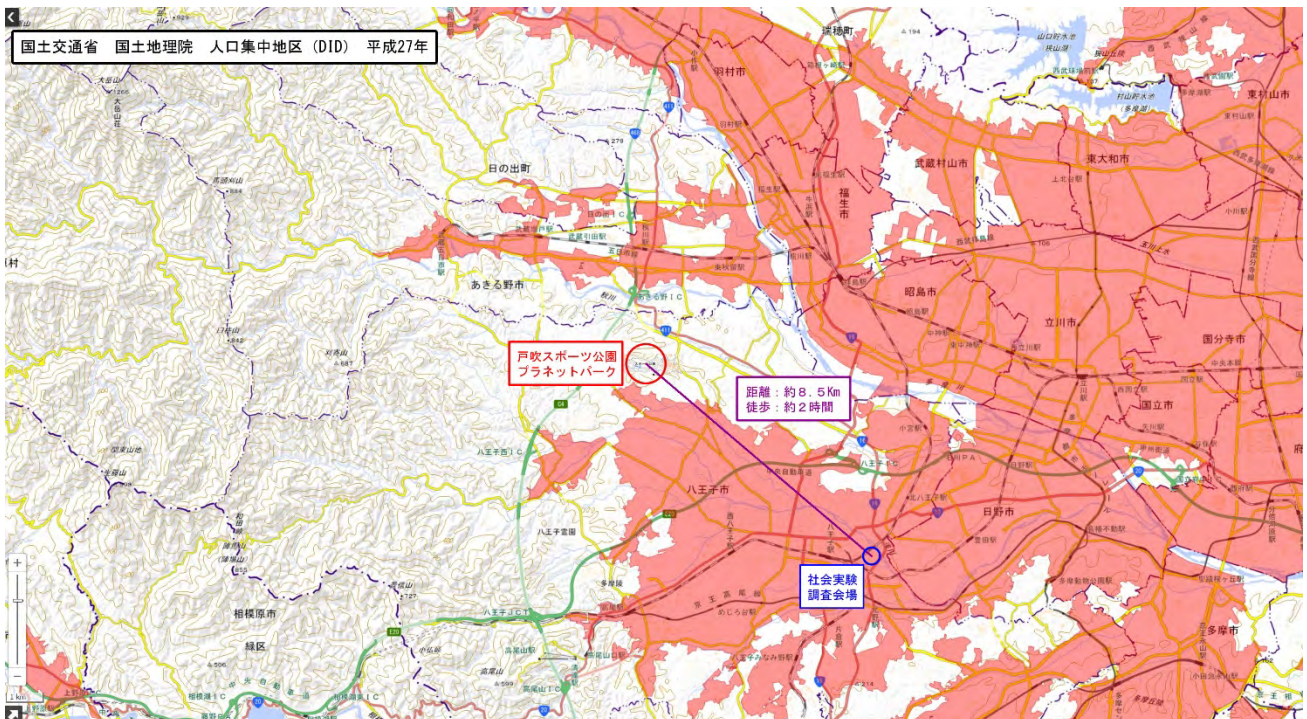
NPO 法人 日本スケートパーク協会

目次

- 1 アンケート調査概要
 - 1-1 調査目的
 - 1-2 調査場所
 - 1-3 調査日時
 - 1-4 調査方法
 - 1-5 調査実施者
 - 1-6 調査人数
- 2 アンケート所感
- 3 アンケート調査結果
- 4 アンケート調査内容

【社会実験調査会場と既存の大規模公共スケートパークの位置】

既存のスケートパーク：戸吹スポーツ公園 プラネットパーク 4,100 平米
社会実験調査会場＝リアルストリート：北野清掃工場 Backyard 759 平米



1 アンケート調査概要

1-1 調査目的

近年、オリンピックやストリートスポーツ国際大会の影響もあり、利用者の増加が加速しているストリートスポーツにおいて、国内に利用可能な公認された場所が少なく、利用者からはもっと利用可能な場所を増やして欲しいという要望が多数寄せられております。また、非利用者からは人の往来のある場所や公園、交通の激しい路上などでの迷惑利用者を何とかして欲しいという要望が当協会に日々届いています。

この現象は、国土交通省 国土地理院が示す人口集中地区（DID）以外に大規模な公共スケートパークが既に設置されている自治体においても同様です。

こうした現状を踏まえ、プロアスリートや競技者ではない一般的なストリートスポーツ利用者が普段利用しているリアルストリートを開放し、下記の問題に焦点を当てて調査を行いました。

- ・スケートボード利用可能場所の仕様の問題
- ・迷惑行為に対する利用者と非利用者間での意識の問題
- ・利用者と非利用者との相互理解の問題
- ・ストリートの需要
- ・利用可能場所における利用料金の問題
- ・公共スケートパーク施設隔離の問題
- ・公共スケートパークに取り入れる競技性の問題
- ・イベントやスクールなどソフト面の必要性の有無

当協会が設計に携わり 2011 年 4 月にオープンした戸吹スポーツ公園のオープニングイベントから約 12 年ぶりのイベント開催となりましたが、これらの問題点を検証することで、今後の日本社会におけるストリートスポーツの楽しみ方や受け入れ方の方向性を見極めるために、利用者及び非利用者の方々のご意見ご要望を参考にさせていただきたく、アンケート調査を実施しました。

今回、当協会が主催・運営にあたったイベントおよび社会実験調査のために、一方ならぬご尽力をいただいた八王子市および八王子市 都市計画部 土地利用計画課の皆様には、心より感謝申し上げます。

*今回のイベントを主催・運営した当協会のメンバー 5 名はアンケートに参加していません。

1-2 調査場所
北野清掃工場 Backyard (八王子市北野町596-3)

1-3 調査日時
令和5年11月12日(日) 10:00~16:00

1-4 調査方法
アンケート用紙に直接記入

1-5 調査実施者
NPO 法人日本スケートパーク協会

1-6 調査人数
39人

2 アンケート所感

【① 参加者について】

社会実験会場は、おおむね八王子市内の公共交通機関を利用して来場して頂きましたが、**利用者の24%が市外からの参加者**でした。また、非利用者の参加者のうち市外からの参加者は約7%であったことから、**各地域の利用者にとって利用場所が少ないことは切実な問題**であり、関心の高さが数値として現れました。

【② 参加者年齢層について】

利用者は**10代以下の参加者が最も多く**、非利用者は**40代以上が殆どを占めていた**ことから、スケートボードを利用したい年代の中心となる世代は子どもたちであり、利用者よりも**非利用者の大人たちによるスケートボードへの関心の高さが分かりました**。

【1. 公認されたリアルストリートの必要性について】

利用者、非利用者共に、**公認されたリアルストリートの必要性**を感じていました。

【2. 公認された身近な場所と迷惑行為について】

利用者、非利用者共に、**公認された身近な利用場所があれば、わざわざ迷惑をかける事も、迷惑をかけられることもない**。と考えていることが分かりました。

【3. 利用者と非利用者との共存について】

利用者、非利用者共に、**アーバンスポーツ利用を想定して造られた公認の利用場所であれば、非利用者と利用者は共存できる**。と考えていることが分かりました。

【4. ストリートと専用パークの必要性について】

キックアウト（排除）されないストリート＝公認リアルストリートと、公認専用パーク＝公共スケートパークの必要性についてのアンケート結果を見ると、現在の公共スケートパークの仕様では、より多くの利用者を吸収できていないことが分かりました。また、利用者はストリートとパーク双方を同程度必要だと感じているのに対し、**非利用者は**普段からパークに赴く事が無いため、ストリートでの利用を目にする機会が多い事に起因し、公共スケートパークよりも、**公認リアルストリートの必要性を感じている方が2倍以上**いました。

【5. 公認リアルストリートの有料化について】

利用者は、ストリートスポーツ公認のリアルストリートの**利用料が有料であった場合でも利用する**。というアンケート結果が大半を占めました。これは、日本における公共施設の利用者＝受益者負担の考え方が浸透している結果とも言えます。

ただし、**非利用者の約43%**は公認のリアルストリートが**有料であった場合は利用しない**。という結果が示す通り、より多くの人々に公共空間を利用してもらう事で地域の活性化やにぎわい、地域経済の活性化を目的とした場合、有料化は検討の余地があると感じました。

【6. 公認リアルストリートの利用料免除年齢について】

利用者、非利用者を問わず、ストリートスポーツ公認のリアルストリートの利用を全員有料化することを前提として考えた場合、**高校生以下は無料にするべきか否か？** という問いに対するアンケート結果は、**利用者、非利用者共に無料にして欲しい**。という結果でした。

【7. 競技性の高い専用パークの必要性について】

競技性の高い公共スケートパークは利用者の安全面に配慮する必要がより一層高まるため、ヘルメットなどの防具着用義務が検討されることはもちろん、他の空間と隔離された檻のような柵で区画される場合が多く、一部の利用者からは「**ジェイルパーク＝監獄パーク**」と呼ばれており、競技者ではない利用者から敬遠される傾向があります。そのような施設であっても競技性の高い専用パークは必要か？ という問いに対して、**利用者、非利用者共に必要である**。という回答が多くを占めていました。但し、利用者、非利用者共に**20%**は**競技練習には専用のトレセン（トレーニングセンター）を作ればよい**と考えており、全体の**16%**はどちらでもない。と考えていることが分かりました。

【8. スケートボードができる場所が必要だと考える理由について】

最も多くの回答は、利用者、非利用者共に「**車などを気にせず安心して練習したいから（33%）**」という回答を選択しており、用具利用の危険性よりも外来の危険を避けたいと考える傾向が強く、次いで「**近所の人に迷惑をかけたくないから（29%）**」という他者へ

の配慮の心が数字に反映されました。今回ような市行政と連携したイベントでは、普段迷惑行為をしてしまう可能性のある利用者の参加は非常に考えにくく、参加者全員が本当に心からスケートボードを楽しみたいと考え、地域の住民や非利用者の皆様との協調を願っている様子が分かりました。また、非利用者の回答も利用者と同様の結果を示したことから、非利用者においても利用者とは何か協調して同じ地域でのびのびと生き生きと暮らしてゆくことができないかと考える「配慮の心」が表れており、闇雲に理解しがたいと受け止めているわけではない。という姿勢が印象的でした。

【 9. 家から利用場所までの距離について】

利用者、非利用者共に「自転車で行ける場所（おおむね 3Km 以内）」と「歩いて行ける場所（おおむね 1Km 以内）」が 81% を占めており、全体の内 19% の車を運転できる方からは「素敵な場所なら距離は関係なく通える」という回答がありました。

【 10. スケートパーク以外での利用場所について】

利用者、非利用者共に、回答者の 95% がスケートパーク以外でも利用できる場所があったほうが良い。と考えており、中でも「公園の一角に小規模の専用スペースがあったほうが良い（59%）」と考えている非利用者が利用者よりも多い事が分かりました。また、利用者にはいませんでしたが、非利用者の回答には「公園全体がスケートボードできると良い（18%）」と考えている方も居り、利用者よりも積極的に日本の将来を見据え、スケートボードの在り方を真剣に考えて下さっている。と感じました。

【 11. スケートボードの練習場所について】

八王子市には 2011 年 4 月から、戸吹町に都内最大規模（4,100 平米）の公共スケートパークがあります（年間利用者数延べ約 30,000 人）。非利用者を含む回答しないを除いたアンケートの結果、普段利用する場所の内、戸吹町のプラネットパークを利用している人は 11% に留まっており、公園や道路、歩道、駐車場といった公認されていない場所で練習している人が 79% を占めています。印象的だったのは、約 10% の人が「無料で滑る場所が無いから練習できない」と回答しています。

この数値から分かることは、その地域にすでに公共スケートパークがある場合は施設利用者数の約 9~10 倍の利用者が居る。という事です。例えば八王子市の場合、プラネットパークの年間利用者数は延べ約 30,000 人ですから、八王子市における年間のスケートボード利用者総数は延べ 270,000~300,000 人と推計できます。八王子市のプラネットパークは都内随一の面積と規模であることから、市外や都外からの来訪者も非常に多く、八王子市に隣接した市町村の総人口は約 1,000,000 人です。この地域で毎日スケートボードをしている人がたくさん居ることを考えると、この数字が多すぎるという印象はありません。

八王子市内においては、富士森公園などスケートボードの利用が公認されていない場所での利用や、同公園の広い駐車場でスケートボードをしている人が時間帯を問わず数多く

確認されており、同公園内にある八王子市スポーツ施設管理課の方々が苦慮している。という話は当協会にも寄せられております。

【12. リアルストリート開放イベントへの今後の参加について】

利用者、非利用者共に、今回のリアルストリート開放イベントへの関心は非常に高く、回答者全体の86%が今後も参加したいと回答しており、同19%は有料でも参加したいとの事でした。

【13. スケートボードスクールについて】

今回20代～50代以上の方がお越しになられた非利用者からは＝無料なら受けたい、20歳未満の方が多数お越しになられた利用者は＝有料でも受けたいという結果がそれぞれ多かったことから、スケートボードに興味を持ち一度取り組んでしまえば、その魅力に引き込まれ、低年齢の方ほど対価を支払ってでも上手くなりたいと考える気持ちが特に顕著に芽生えることが分かりました。これからの日本を支えて下さる子どもたちの向上心を育むことが出来るスケートボードの魅力を再確認いたしました。

【所感・総括】

今回の調査では、八王子市役所職員の皆様や北野町地域にお住いの皆様の多大なるご理解とご協力を得て、このようなイベントが12年ぶりに開催できたこと、心より感謝いたします。

当協会は非営利活動法人のため、有料イベントは一切行う予定はありませんが、さらに多くの皆様のニーズを満たせるよう、今後も鋭意調査を重ねてまいります。

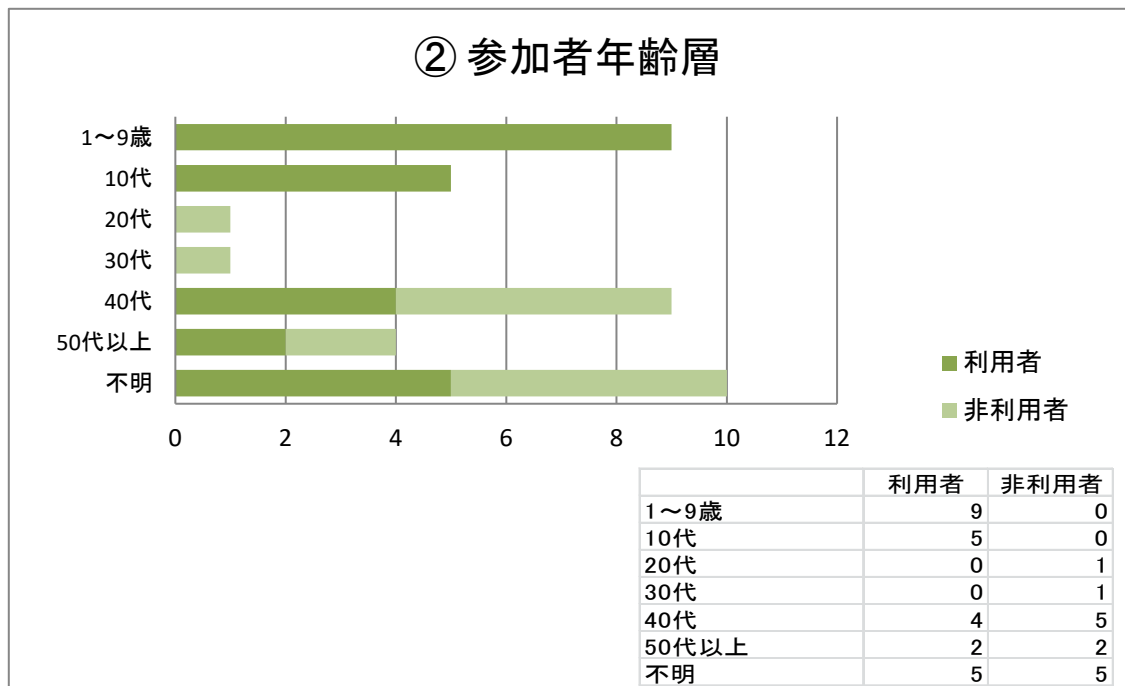
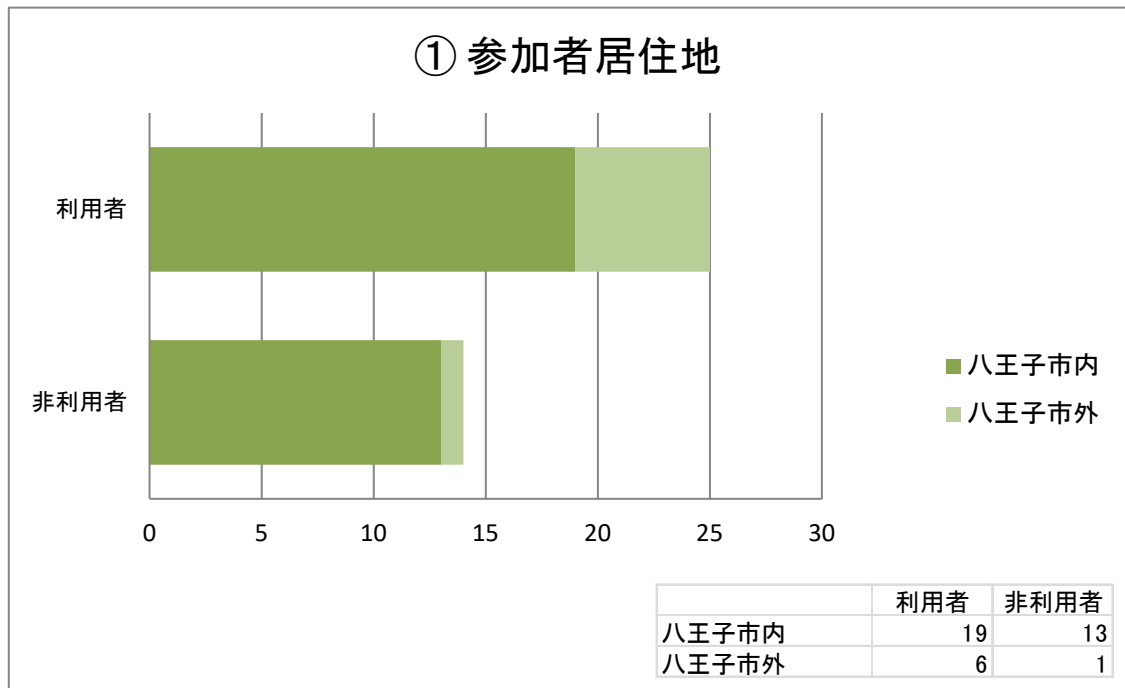
日本の将来のために、より多くの皆様が「利用者」と「非利用者」の隔たりや垣根を越えて、共に協調し配慮しながら生き生きと暮らせる公共空間の整備を目指し、日本の公園やスケートパークはもちろん、パブリックスペースの有効な利活用や効果的なあり方を模索し、日本が誇る自然や緑地、水辺や海辺との調和を意識し、地域経済活性化を図ることが出来るアーバンスポーツ利用可能場所の構想検討、設計、施工を、行政の皆様や指定管理者の皆様、地域の皆様と協働して担ってゆきたいと考えております。

将来の日本を支えて下さる多くの子どもたちの声を社会に反映させ、心身の健康と健全な育成を見守り、誰にとっても安全で健やかな日本社会を維持するためには、たくさんの大人の皆様のご理解とご協力が必要です。

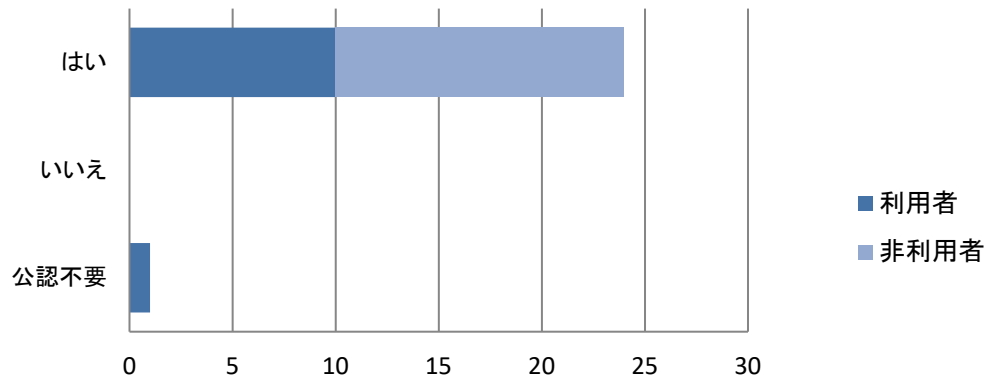
今後とも何卒、よろしくお願いいたします。

2023年12月4日
NPO 法人 日本スケートパーク協会
理事長 河崎 覚

3 アンケート調査結果

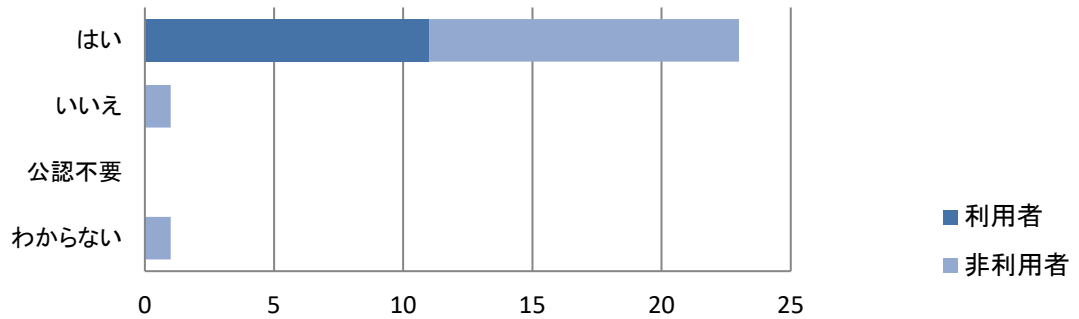


1. 公認されたリアルストリートは必要か？



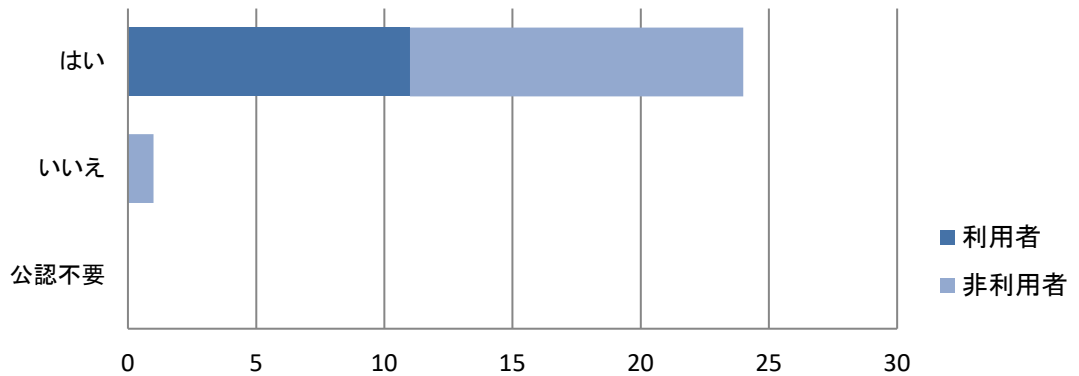
	利用者	非利用者
はい	10	14
いいえ	0	0
公認不要	1	0

2. 公認された身近な場所があれば他人にわざわざ迷惑をかけることはない



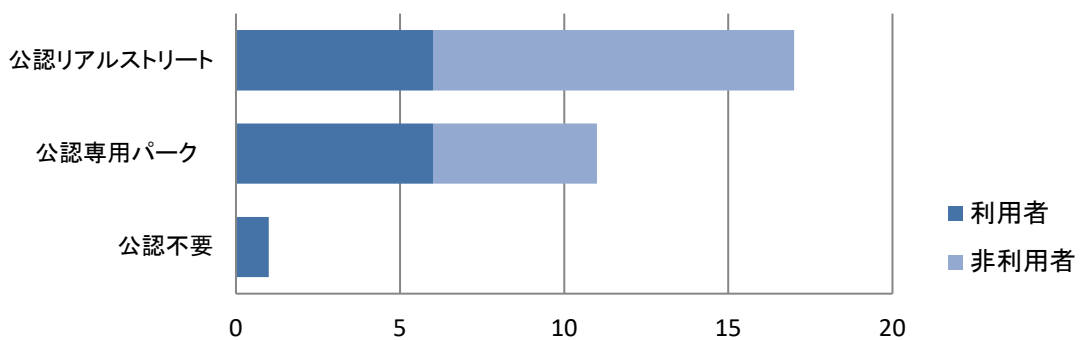
	利用者	非利用者
はい	11	12
いいえ	0	1
公認不要	0	0
わからない	0	1

3. アーバンスポーツ利用を想定して造られた公認の場であれば(非)利用者と共存できる



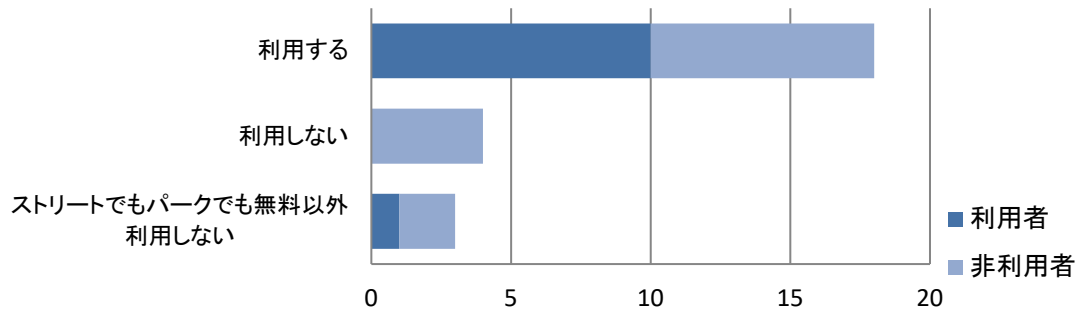
	利用者	非利用者
はい	11	13
いいえ	0	1
公認不要	0	0

4. キックアウトされないストリートと専用パーク、どちらが必要か？(複数回答有)



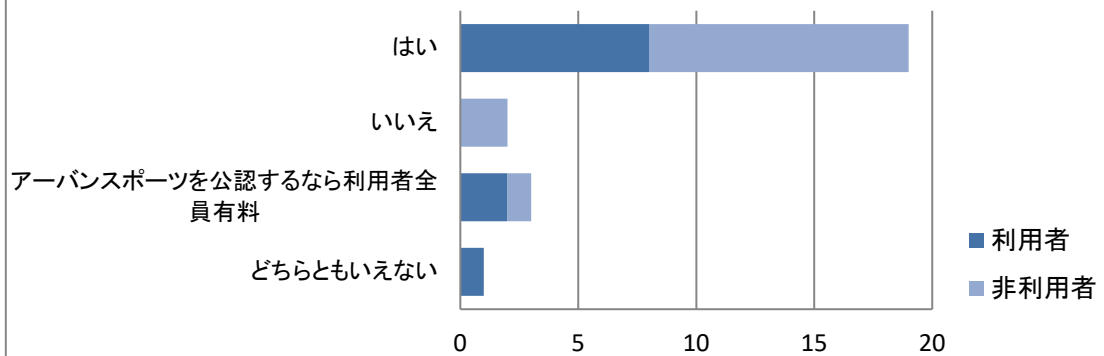
	利用者	非利用者
公認リアルストリート	6	11
公認専用パーク	6	5
公認不要	1	0

5. 公認リアルストリートが有料であっても利用するか？



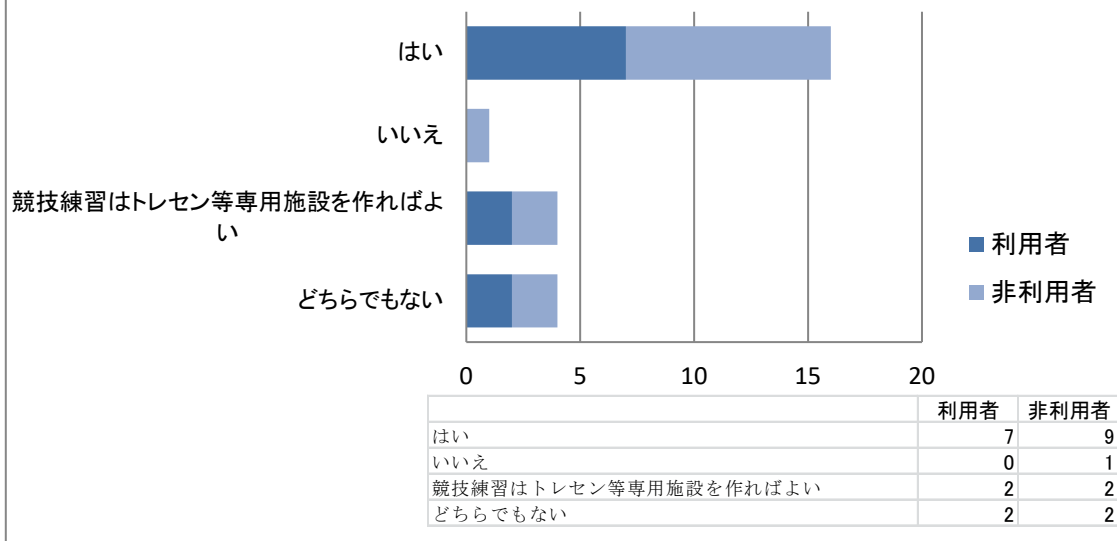
	利用者	非利用者
利用する	10	8
利用しない	0	4
ストリートでもパークでも無料以外利用しない	1	2

6. 公認リアルストリート(非利用の一般利用入場者全て含む)は高校生以下無料にして欲しい

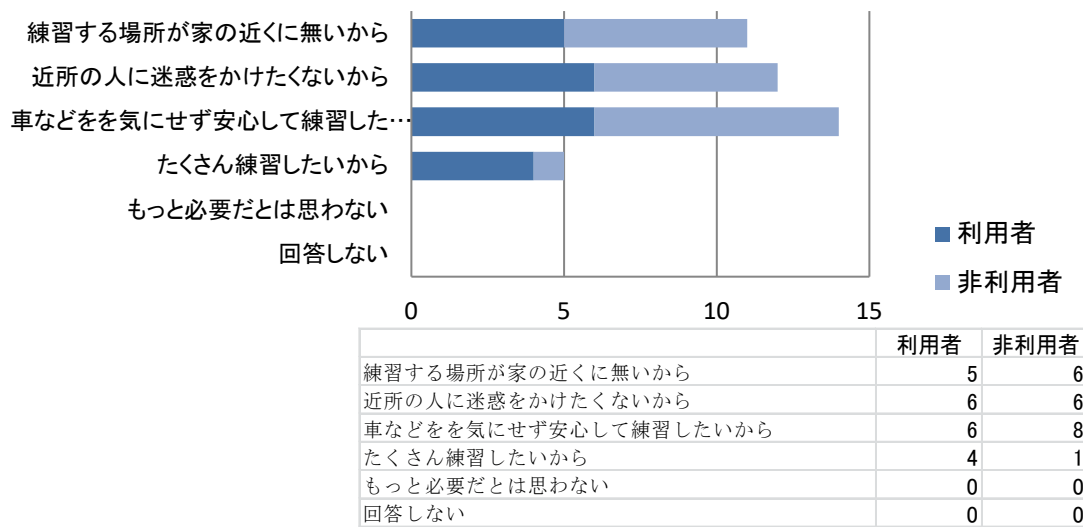


	利用者	非利用者
はい	8	11
いいえ	0	2
アーバンスポーツを公認するなら利用者全員有料	2	1
どちらともいえない	1	0

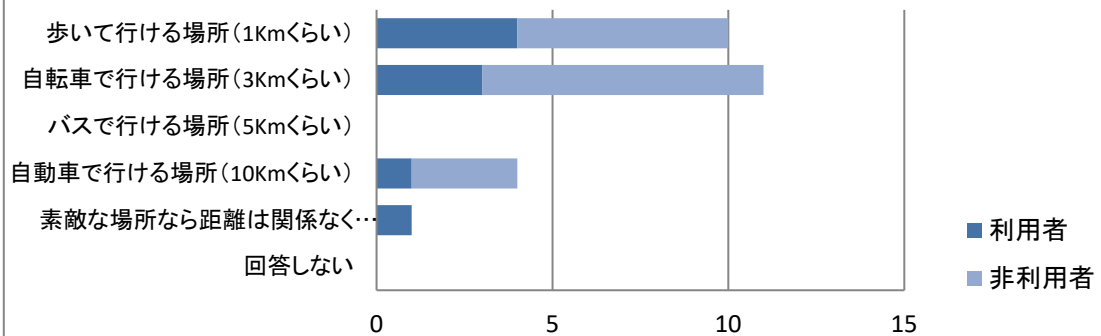
7. ジェイルパークであっても、競技性の高い専用パークは必要か？



8. あなたはなぜ？ スケートボードができる場所がもっと必要だと思いますか？(複数回答有)

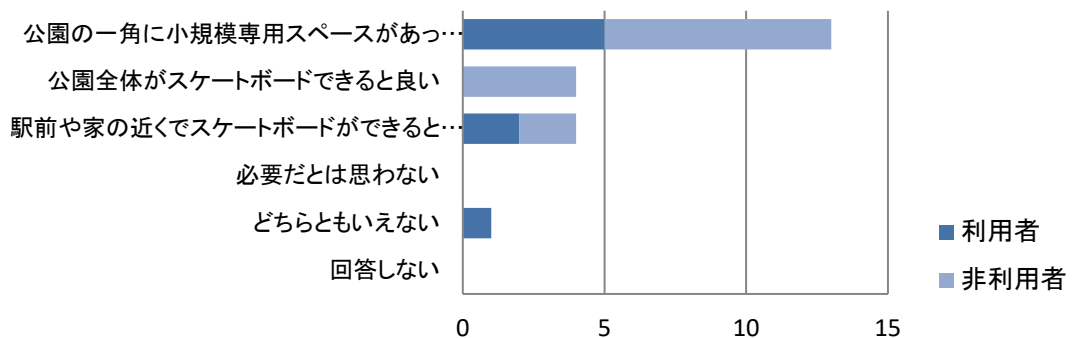


9. 家からどのくらいの距離までならスケートボードができる場所に通えますか？(複数回答有)



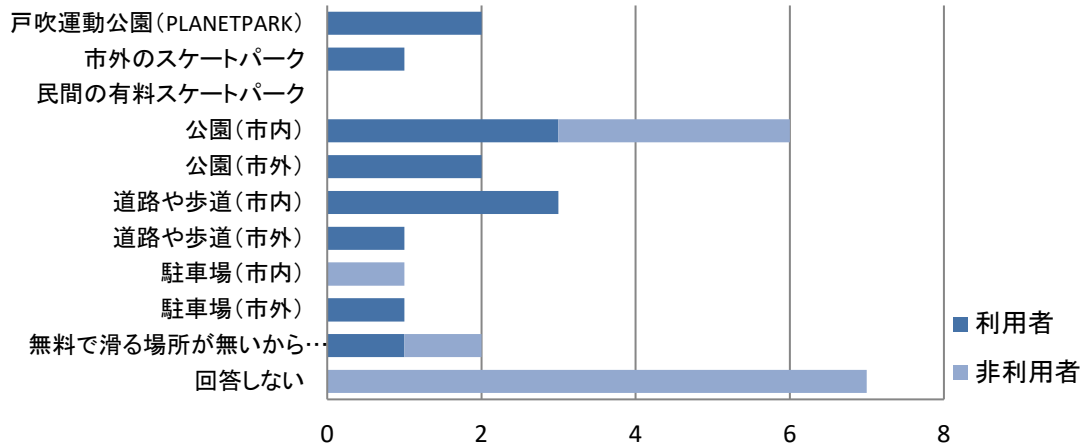
	利用者	非利用者
歩いて行ける場所(1Kmくらい)	4	6
自転車で行ける場所(3Kmくらい)	3	8
バスで行ける場所(5Kmくらい)	0	0
自動車で行ける場所(10Kmくらい)	1	3
素敵な場所なら距離は関係なく通える	1	0
回答しない	0	0

10. スケートパーク以外にもスケートボードができる場所があったほうが良いですか？(複数回答有)



	利用者	非利用者
公園の一角に小規模専用スペースがあったほうが良い	5	8
公園全体がスケートボードできると良い	0	4
駅前や家の近くでスケートボードできると良い	2	2
必要だとは思わない	0	0
どちらともいえない	1	0
回答しない	0	0

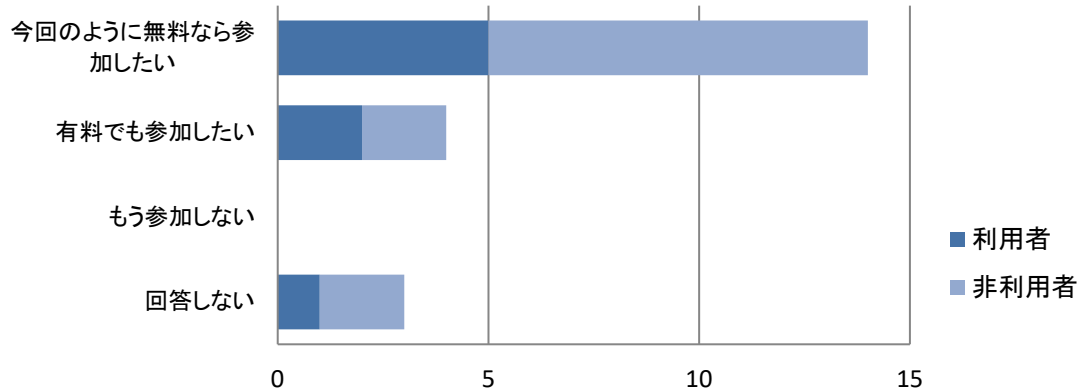
11. スケートボードを練習する(していた)主な場所はどこですか？ (複数回答有)



	利用者	非利用者
戸吹運動公園 (PLANETPARK)	2	0
市外のスケートパーク	1	0
民間の有料スケートパーク	0	0
公園(市内)	3	3
公園(市外)	2	0
道路や歩道(市内)	3	0
道路や歩道(市外)	1	0
駐車場(市内)	0	1
駐車場(市外)	1	0
無料で滑る場所が無いから練習できない	1	1
回答しない	0	7

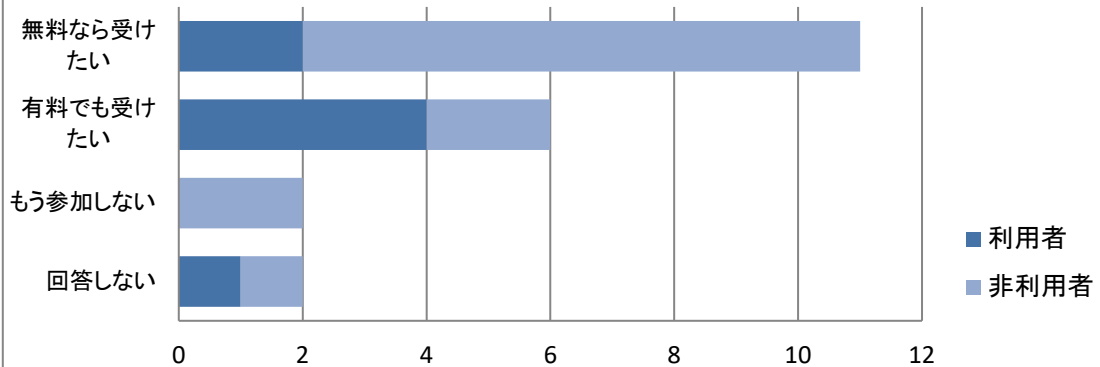
市外のスケートパーク 「流星台スケートパーク」(茨城県つくば市)

12. 今回のようなリアルストリート開放イベントに今後も参加したいですか？(複数回答有)



	利用者	非利用者
今回のように無料なら参加したい	5	9
有料でも参加したい	2	2
もう参加しない	0	0
回答しない	1	2

13. これからも定期的にスケートボードのスクールを受けたいですか？(複数回答有)



	利用者	非利用者
無料なら受けたい	2	9
有料でも受けたい	4	2
もう参加しない	0	2
回答しない	1	1

自由回答(ご意見・ご要望)

「街の賑わいや多様性にはプラスになると思います。
共存していける環境がつかれるといいですね。」

「公園全体、駅前や家の近くでスケートボードができると良いけど
非利用者どう共存するかは要検討」

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今後の日本におけるスケートパークの在り方や方向性を検討するための
参考資料とさせていただきます。

各地域の行政の皆様や都道府県民、市区町村民の皆様のお役に立てれば幸いです。

- (8) あなたはなぜ？ スケートボードができる場所がもっと必要だと思いますか？
複数回答可
- 1) 練習する場所が家の近くに無いから
 - 2) 近所の人に迷惑をかけたくないから
 - 3) 車などを気にせず安心して練習したいから
 - 4) たくさん練習したいから
 - 5) もっと必要だとは思わない
 - 6) 回答しない
- (9) 家からどのくらいの距離までならスケートボードができる場所に通えますか？
- 1) 歩いて行ける場所 (1Km くらい)
 - 2) 自転車で行ける場所 (3Km くらい)
 - 3) バスで行ける場所 (5Km くらい)
 - 4) 自動車で行ける場所 (10Km くらい)
 - 5) 素敵な場所なら距離は関係なく通える
 - 6) 回答しない
- (10) スケートパーク以外にもスケートボードができる場所があったほうが良いですか？
- 1) 公園の一角に小規模専用スペースがあったほうが良い
 - 2) 公園全体がスケートボードできると良い
 - 3) 駅前や家の近くでスケートボードできると良い
 - 4) 必要だとは思わない
 - 5) どちらともいえない
 - 6) 回答しない
- (11) スケートボードを練習する (していた) 主な場所はどこですか？
- 1) 戸吹運動公園 (PLANETPARK)
 - 2) 市外のスケートパーク (名称:)
 - 3) 民間の有料スケートパーク (名称:)
 - 4) 公園 (市内)
 - 5) 公園 (市外)
 - 6) 道路や歩道 (市内)
 - 7) 道路や歩道 (市外)
 - 8) 駐車場 (市内)
 - 9) 駐車場 (市外)
 - 10) 無料で滑る場所が無いから練習できない
 - 11) 回答しない
- (12) 今回のようなリアルストリート開放イベントに今後も参加したいですか？
- 1) 今回のように無料なら参加したい
 - 2) 有料でも参加したい
 - 3) もう参加しない
 - 4) 回答しない
- (13) これからも定期的にスケートボードのスクールを受けたいですか？
- 1) 無料なら受けたい
 - 2) 有料でも受けたい
 - 3) もう参加しない
 - 4) 回答しない

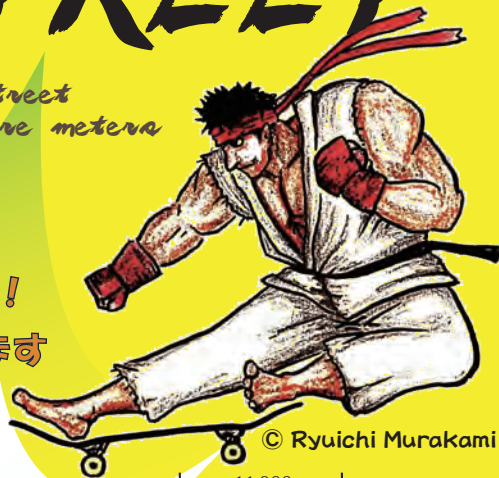
自由回答：ご意見やご要望をお書きください

ご協力ありがとうございました。

HACHIO-JI REAL STREET

Hachioji Skateboard Open Zone Real Street
Pavement Surface = Approximately 759 square meters
Numerical unit (mm)

八王子市による社会実験を開催します
ジェイルパーク（監獄パーク）ではない！
公認リアルストリートの必要性を検証します



Place

八王子市北野町596-3

北野清掃工場

Backyard

初心者スクール随時開催



Opening date and time

2023・11・12 (SUN)

AM10:00 ~ PM16:00

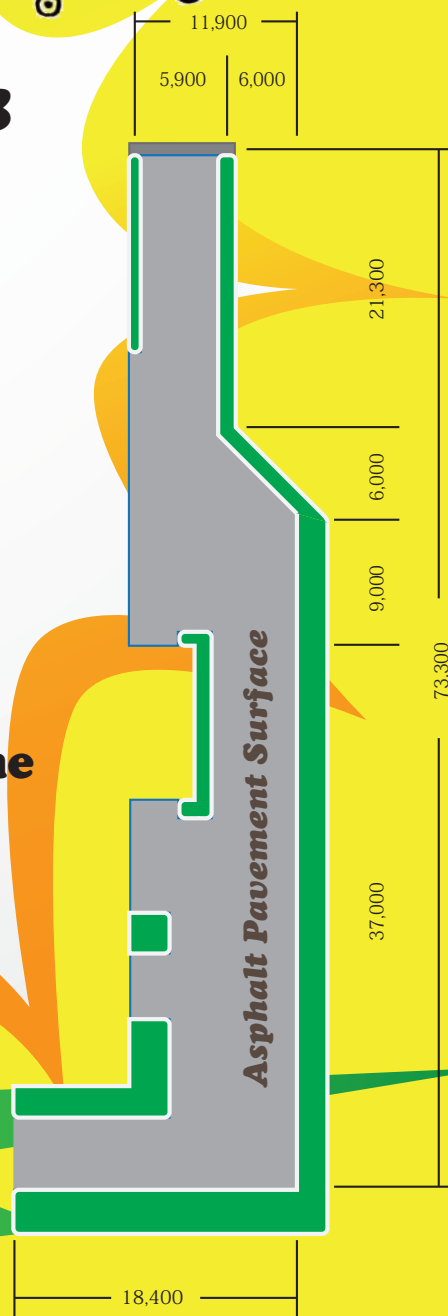
八王子市スケートボード社会実験

運営：NPO 法人 日本スケートパーク協会

協賛：八王子スケートボード協会

金井設計事務所 CAPT 村上工務店

株式会社スケートパークスジャパン



No More Jail Parks!!!

Symptom of the skateparks!

SKATEBOARDS

公共交通機関を利用してください

駐車場はありません